



上棟祭

神宮立柱祭・上棟祭・せんぐう館 … 2～3	靖國神社・護國神社参拝 ……11
神宮大麻頒布推進会議 …… 3	神殿例祭・祈年祭 ……12
神宮初まいり …… 4	教化委員会報告 ……12～13
東日本大震災慰霊祭 …… 5	青年会・研修会・支部だより …14～15
まんが古事記「あまのいわと」……7～10	各社祭典報告 ……16

敬神生活の綱領

神道は天地悠久の大道であつて、崇高なる精神を培ひ、太平を開くの基である。

神慮を畏み祖訓をつぎ、いよいよ道の精華を發揮し、人類の福祉を増進するは、使命を達成する所以である。

ここにこの綱領をかかげて向うところを明らかにし、実践につとめて以て大道を宣揚することを期する。

一、神の恵みと祖先の恩とに感謝し、明き清きまことを以て祭祀にいそしむこと

一、世のため人のために奉仕し、神のみこともちとして世をつくり固め成すこと

一、大御心をいただきてむつび和らぎ、国の隆昌と世界の共存共栄とを祈ること



式年遷宮立柱祭・上棟祭・せんぐう館竣工式に参列して

庁長 羽中田 進

立柱祭

第六十二回式年遷宮立柱祭が三月四日午前十時に内宮で、三月六日午前十時に外宮でそれぞれ斎行されました。立柱祭は新しい御正殿の御柱を立てるに際して執り行われる祭儀で、古くより遷宮諸祭の中でも重儀とされ齋行日時は天皇陛下の御治定を仰ぐことになっていました。

祭儀に先立ち正宮を奉拝の後、新御敷地の祭場へ参入、先ず建物を守護する屋船大神に神饌を奉り祝詞を奏上、諸員奉拝の後、素襖烏帽子姿の小工八名が二名ずつ四組にわかれ、木槌を持って御正宮の各柱十本を三



回に分けて打ち固めました。

立柱祭の儀の後、北白川統理に合わせ参列者奉拝、御敷地を退下した後、荒祭宮（外宮では多賀宮）を遙拝し立柱祭は終了いたしました。

豊受大神宮上棟祭齋行

平成二十四年三月二十八日午前十時に外宮御正殿の上棟祭が古式に習い、いとも厳肅に齋行されました。神宮では第六十二回式年遷宮の準備が進められ、鎮地祭、立柱祭、上棟祭は古来より重儀とされ、持統天皇の御代に第一回式年遷宮が行われてから、一三〇〇年の伝統が固く守られて来ました。祭儀は先ず技監が新宮が旧規に違いなく建てられているかを調べ、次に素襖烏帽子の小工二名が屋上より布綱二条を延ばし、大宮司以下神職と小工達が白綱の外側に手を掛け東西に相対し、その間に

榊を手にした技師二名が立ち、

屋上には木槌を持った小工二名が控えて、技師の一人が榊を振り「オー」と唱え、もう一人が「千歳棟」と声高く唱えると屋上の小工がこれに「オー」と応じ木槌を振上げて棟木を力強く打ち、続いて「万歳棟」「曳曳棟」（内宮は曳曳億棟）と同様の所作を繰返し、その槌音は神域に響き渡りました。次に小工が餅を西北に各三度撒いて棟木奉揚の儀が終了しました。次に屋船大神に神饌を奉り祝詞奉り、諸員奉拝、次に多賀宮を遙拝して上棟祭は終了いたしました。



せんぐう館竣工式

伊勢神宮では、平成二十五年度の遷御に向けて神宮式年遷宮の準備が進められております。

神宮の遷宮は一三〇〇年の歴史を有し、第六十二回となる今次の遷宮を記念して、外宮のまがたま池のほとりに、せんぐう館が誕生いたしました。このせんぐう館は式年遷宮の意義と社殿造営や御装束神宝の技術を未来へ継承するため「神宮」「式年遷宮」「神道」についてわかりやすく知ることができる展示と様々な講演・講座が企画されており、四月七日開館です。



平成二十三年度 神宮大麻暦頒布終了祭
神宮大麻暦頒布春季推進会議

(「モデル支部」全国推進会議)

東山梨支部長 高原 左門

三月四日午後四時より内宮参

集殿二階に於て、春季モデル支部対策担当者が行われ、四十七都道府県、五十四モデル支部長、各神社庁関係者の出席を以て開催された。

一、モデル支部制度について

神社本庁奉賛部長より、七年間の経過を話され、その目的が大方達成された事に対して感謝の意を述べられた。

一、事例報告 石川県石川支部

新聞折り込みチラシの実施又タペストリー「お礼は家のお守りです」(縦二四〇cm横二二〇cm)を作製し、各本務神社の社頭での掲示を実施した。

外全国各支部共通した事例だが、担当者の熱意が第一である。

三月五日午前八時三十分より

外宮内宮の特別参拝の後

内宮神楽殿にて、神宮大麻頒布

終了祭が斎行された。

午前十一時三十分より内宮参

集殿二階にて、神宮大麻暦頒布春季推進会議が開催された。

神社本庁奉賛部より今後の方針について述べられた。

一、神宮よりの頒布が始まり既に一四〇周年を迎える本年、又モデル支部第三期を以つて、この制度を終了して、七年間の総括を通じて取組み二十四年度以降の推進に取り組み考えを述べられた。尚今後も各県に対して、

一、推進費三〇万円

一、小型神棚無料配布

等従来通り実施する旨を述べられた。

一千万家庭神宮大麻奉斎運動モデル支部制度の目的に対して第三期末、八、九九一、六三七体家庭に奉斎の実績と成りました。

支 部	小 大 麻		中 大 麻		大 大 麻		大 麻 合 計		郷土暦
	頒布数	増 減	頒布数	増 減	頒布数	増 減	頒布数	増 減	頒布数
甲 府 支 部	17,130	+ 170	1,420	+ 18	195	- 30	18,745	+ 158	600
東 山 梨 支 部	13,692	+ 32	366	+ 14	165	- 11	14,223	+ 35	390
東 八 代 支 部	11,081	+ 9	406	- 9	93	+ 9	11,580	+ 9	445
南 支 部	9,559	- 70	586	- 19	249	- 7	10,394	- 96	1,340
峡 中 支 部	15,813	- 62	842	- 25	40	+ 2	16,695	- 85	670
峡 北 支 部	12,352	- 34	375	- 15	47	- 1	12,774	- 50	1,250
南 都 留 支 部	16,923	- 155	3,355	- 115	951	+ 3	21,229	- 267	6,250
北 都 留 支 部	3,550	- 34	4,982	- 18	245	- 3	8,777	- 55	1,850
神 社 庁 扱	851	+ 351		0		0	851	+ 351	
合 計	100,951	+ 207	12,332	- 169	1,985	- 38	115,268	0	12,795

平成二十三年度大麻並曆頒布実績表
平成二十四年一月

神宮初まいりに参加して

南都留支部 渡 邊 ゆり子

一月十八日より三日間楽しみ
にしていた神宮初まいりに参加
させて頂きました。早暁の吉田
を出発し一日目外宮、内宮の参
拜。外宮では開館を四月に控え
た勾玉池池畔、式年遷宮記念
「せんぐう館」が竣工待ちに整
備が進んでいました。神宮ま
いの拠点として今後理解を深め

る場となる事でしょう。内宮の
宇治橋を渡りながら五十鈴川の
流れの清らかな事、玉砂利の音、
神宮の森静寂な参道に心が清
めされ不思議な情感に包まれ
て、ここが神様のいらっしやる
処なのだと新たな思いで参拝し
ました。二日目大阪天満宮、そ
の前に天満宮の広大な敷地内の
神社に隣接してある上方
落語、天満天神繁昌亭で
浪花の芸人の笑いに包ま
れた寄席のひとつときでし
た。ビル街の中にあり一
般の生活に溶け込んでい
る大阪天満宮、繁昌亭と
の相乗効果で御神威いよ
いよ隆盛と思いました。
今夜の宿は宗右衛門町に
あるホテルメトロポリタ
ン、道
頓堀で夕食会、二晩目な
のでこの上なく盛り上り
楽しみました。宴会の後
周辺を散策し賑やかな雰
囲気を堪能しました。三
日目、住吉大社は規模の



大きな国宝に指定されている
社殿の立派さに感嘆し、初ま
いりが二百七十万人も訪れると伺
い地元の人々から「すみよっさ
ん」と呼ばれ生活に溶け込んで
いる様子、又の日にゆつくりお
まいりに来たい思いです。身も
心も洗い清められる様な余韻に
浸りながら、神々に手を合わせ
ておまいりする事の大切さと、
守られている事を再認識しなが
ら三日間の旅を恙無く終り感謝
の思い一杯で帰路に着きました。



東日本大震災 物故者慰霊祭・復興祈願祭

神社本庁



東日本大震災から一年となる三月十一日午後二時より、宮城県石巻市の日和山公園で神社本庁主催の東日本

る玉串拝礼の後、撤饌、昇霊の儀が終わったところで、くしくも時刻は地震発生の二時四十分、参列者全員で黙祷を捧げ、祭典が終了した。

高台にある日和山公園から見下ろす景色は、いまだ大震災の爪痕癒えぬものであり、当日は多くの人々が祈りを捧げに集まっております。慰霊祭が始まると、多くの方々も足を止め慰霊祭に立ち会ってました。

神道政治連盟

去る三月十日、東日本大震災

一周年の三月十一日を前に、福島県相馬市磯部の有会社丸太

水産跡地に於て、神道政治連盟国会議員懇談

会主催により慰霊祭が

斎行され、

当県本部より小尾副本



部長、飯田主事、私の三名が参列した。福島駅より用意されたバスに乗り一時間半かかってようやく現地に到着した。当日現地は辺り一面雪におおわれ斎場である大きなテントが広い平野の中にポツンと張られていた。

平野と言ってもそこは、あの震災の津波で流された住宅街であった。建物が在ったことを思わせる基礎がいたる所に残され、堤防は壊れたままであった。そんな中でテントに入り席に着いた。

慰霊祭には主催者である神道政治連盟国会議員懇談会安倍晋三会長を始め多数の国会議員、地方議員、神政連役員及び大震災物故者遺族が参列した。

慰霊祭に先立ち大祓詞が奏された、次第に従って斎行された。遺族代表挨拶の中にあつた、未

に消えない震災の悲しい記憶を一日も早く明るい明日に向かつて進めるように応援したい。(神政連幹事長 渡邊平一郎)

山梨県神社庁

神社本庁通達にもとづき、山

梨県神社庁では、東日本大震災の発生から早一年を迎えた、三月十九日(月)午後一時三十分



神社庁会館二階正面玄関前に斎場を設け、え、大震災・大津波により、尊き命を奪われ帰幽され

た多くの方々の御霊の冥福・平安を祈る「東日本大震災物故者慰霊祭」がしめやかに斎行された。引き続き、神社庁神殿の大前に於いて、いまなお深刻な状況である、被災地・被災神社等の一日も早い復興を祈る「東日本大震災復興祈願祭」が再度斎行された。

この日は、県神社庁峡北支部神職三名により、雅楽の奏でられる中祭儀が奉仕され、山梨県神社庁羽中田進庁長、同神社総代会宮川陸武会長を始め、県内神職・総代等五十余名が参列し、深刻な被災地に思いをはせ、玉串を捧げ拝礼し、改めて物故者の冥福・平安と、被災地被災神社等の早期復興を祈念申し上げた。

(峡北支部長 森越義建)

一都七県神社庁連合会総会開催される

東八代支部長 志 村 重 治

去る二月二十三日、千葉市のアパホテル&リゾート(東京ベイ幕張)を会場にして、当山梨から羽中田神社庁長他十七名と、関東地区の一都七県の神社関係者、神社本庁統理、神宮大宮司を始め、ご来賓の臨席を仰ぎ、二〇〇余名が一堂に会し開催されました。今総会は昨年三月襲来の大震災後初の総会であり、被災による物故者や犠牲者に黙祷が捧げられての開会になりました。

当番神社庁の千葉県杉山庁長から、被災地復興と式年遷宮完遂等祈念の挨拶があり、来賓各位より祝辞が述べられました。

議事に入り、千葉県杉山庁長が議長となり、定例評議委員会へ提出された案件等の二議案、(一)平成二十二年五月提出の処理結果について、(二)平成二十三年五月提出の処理方針について、が上程され、承認されました。

続いて総会宣言(案)、(一)

第六十二回神宮式年遷宮の完遂を目指すと共に、次世代へ神宮奉賛の心を継承させるべく若い世代へ向け、その意義啓発に取り組む。(一)皇室典範や領土領海を巡る国の根幹に係る諸問題をはじめ、国民の意識や価値観の変容に対応する諸施策の推進と国民精神の涵養に取り組むの二項が提案、採択宣言されました。

第二部として一都七県代表四名による、意見発表会があり、当県代表古屋真弘県教化委員会から『教化、防災の視点からの姉妹神社庁構想について』をテーマに発表があり、会場から賛同の拍手が続きました。夕刻には参加者交流会があり親睦を深めました。翌二十四日には県参加者全員で千葉縣護國神社に正式参拝五七八二八柱の英霊に玉串を捧げ帰路につきました。今回総会に出席した事は様々な情報を得る機会でもあり、大変意義深いものでした。

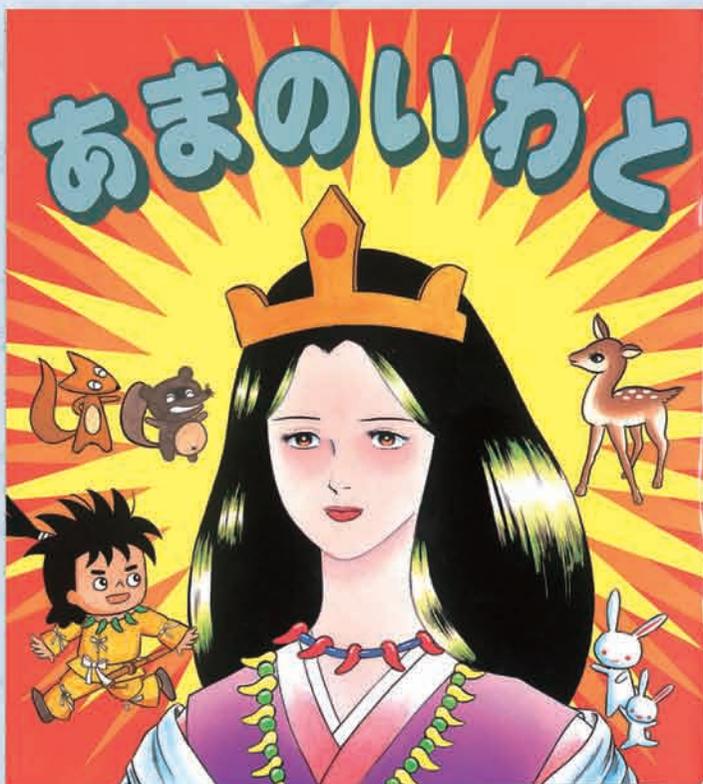
一都七県神道政治連盟本部長・幹事長・事務局長会議報告

神道政治連盟山梨県本部長 佐々木 幸 永

三月二十二日・二十三日栃木県日光市鬼怒川温泉「あさやホテル」に於いて開催されました。十三時受付。十四時開催県栃木の柳田副本部長の言葉により開会。神宮遥拝、国歌斉唱、宣言。綱領唱和、当番県提督本部長挨拶、石原庁長挨拶、続いて来賓神道政治連盟中央本部長曾我部会長祝辞では、現在二十の都府県において地方議員の会が設立されている、女性宮家の問題、次回参議院選候補予定者は六月の中央委員会に諮るので決定したら力添えを願います。神主は先ず神事、次に政事を、との言葉がありました。当番県本部長が議長となり議事に進む。湯澤事務局長より、東日本大震災における神社の被災状況。教科書の採択状況。領土問題、特に尖閣諸島の領有権について中国は、台湾やチベット自治区と同列の「核心的利益」との位置

付けを示している。皇位継承制度に関する最近の動向。靖国神社公式参拝の問題。現在係争中の政教関係訴訟等中央本部の活動が報告された。次に各地方本部より活動報告があり、議事終了、国学院大学大原康男教授より「女性宮家」創設問題について、女系天皇に通ずる流れとなるので女性宮家は断固在ってほならない。昭和二十二年十月十四日駐留軍に廃籍された旧宮家十一家の皇籍復帰の新法制定こそ肝要である、との講演がありました。次年度当番県神奈川県石川本部長より、来年度は三月十三日・十四日横浜で開催致します、再会を待ち申しあげます。又今年六月二日女性フォーラムが横浜で開催されます、お誘い合せのうえご来場下さい。との案内があった。閉会の後、懇親会に移り、翌朝散会。

まんが古事記 (第四話)



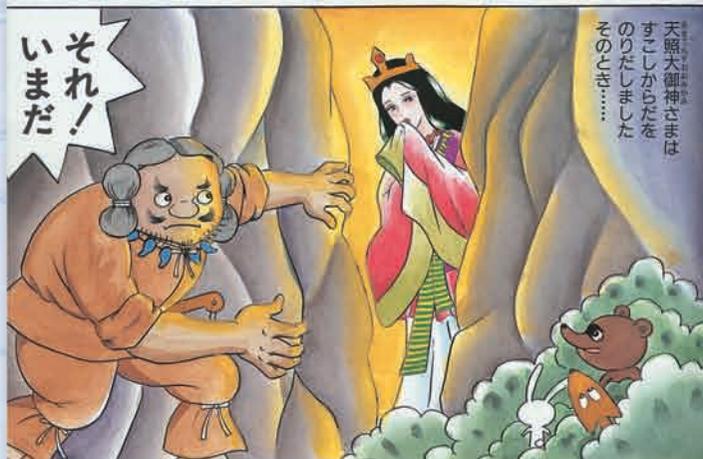
お子さん、お孫さんと、
神話の世界をお楽しみ下さい。

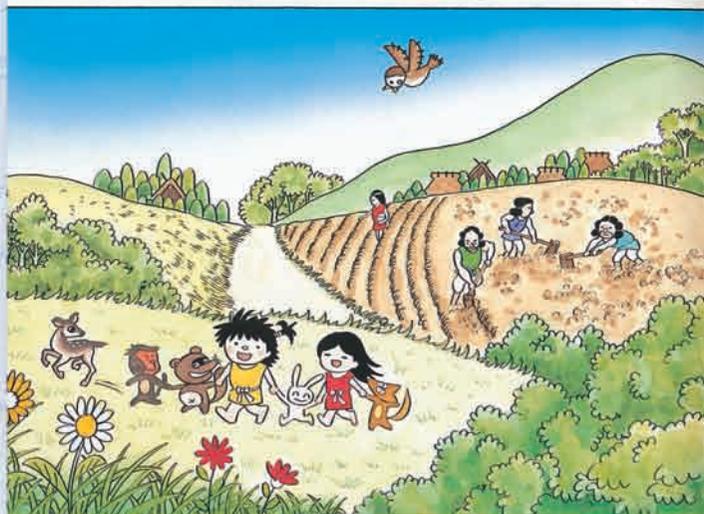


「全国神社保育団体連合会」提供
 問い合わせ 東京都渋谷区代々木一―一―二
 本社本庁内
 電話 〇三―三三三九―八〇―一
 一冊 一二〇円

あらすじ

いたずら好き
 な須佐之男神は、
 高天原でいたず
 らばかりしてい
 ました。しかし、
 そのいたずらが
 あまりにも激し
 いので、日頃心
 のやさしい天照
 大御神さまも、
 さすがにお怒り
 になられ、天岩
 戸に隠れてしま
 われました。
 たちまちこの
 世のなかは、ま
 つ暗闇となり大
 混乱です。そこ
 で思兼神とい
 う賢い神さまが八
 百万神々を集め、
 天照大御神さま
 を天岩戸からお
 だしする一計を
 案じるのでした。



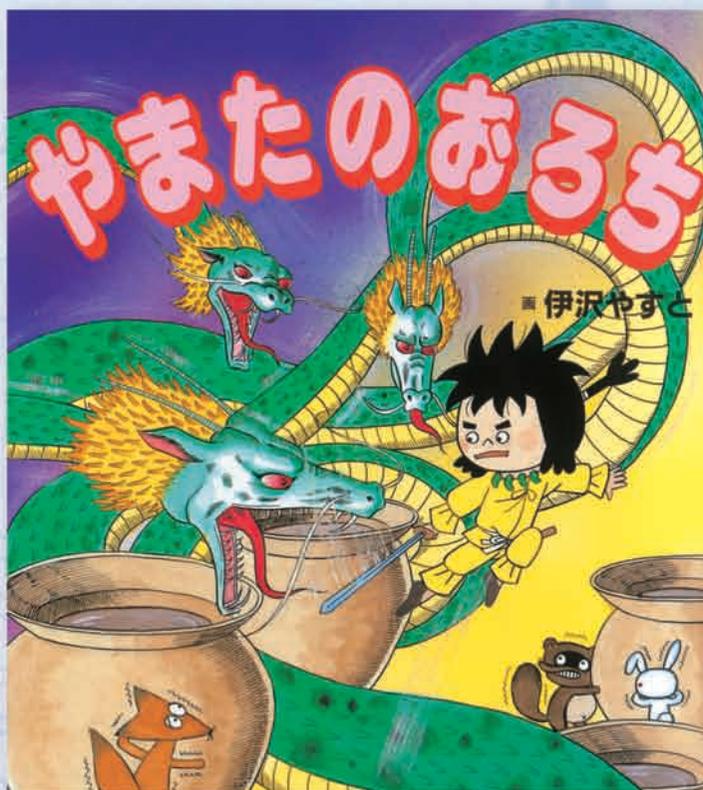


わが国の古典で一番古いものは、『古事記』・『日本書紀』です。これらが認められたのは、今から一千三百年ほど以前のこととなります。

此度、漫画化した「あまのいわと」は、『古事記』の中に納められている、最も代表的なものです。この「古事記」は、天武天皇の命により稗田阿礼が暗誦した神代からの伝承を、太安万侶という人物が書き上げ、和銅五年（七一二年）に元明天皇に献つたものです。全部で三巻あり、このうち上巻には天地の始めから、神々の出生、この日本を治められた皇室のはじまりまでが記載されています。この部分が普通、日本神話と呼ばれているところです。

幼い頃、語り聞かされた神話。そこには神々の躍動があり、また何かしれぬ不思議な感銘を覚えた感銘は、大人になっても決して忘れ去られるものではなく、むしろより豊かなイメージを育み、宗教・芸術などを味わうことのできる情操を培う基礎になるものといえます。

日本人の信仰、日本の文化・伝統の原点ともいべき神話に、お子様が触れることによって自然に感性が育まれ、正しい人格形成の基礎が確立されていくことになるでしょう。



※次号より「やまたのおろち」を掲載いたします。

神道政治連盟山梨県本部靖国神社 山梨県護国神社参拝

甲府支部 岡田 美佐子

去る三月二十一日、神道政治連盟山梨県本部主催の靖国神社・山梨県護国神社参拝へ参加させて戴いた。県内八支部から今回は約一五〇名が参加した。

九時三十分山梨県護国神社正式参拝、羽中田進宮司の御挨拶を戴いた後、靖国神社へと向かった。車中和やかな雰囲気、で昼食を取り、午後一時過ぎ、靖国神社正式参拝の運びとなった。

拝殿にて修祓を受けた後、本殿へ進むと静謐な空気が一同を取り巻いた。東京とは思えぬ荘重な静けさの中、羽中田庁長、佐々木本部長、千野総代会副会長の玉串奉奠に合わせて拝礼し英霊に感謝と追悼の念を捧げた。拝礼後の黙祷は戦没者の冥福を祈ると共に、先人達が命をかけて守った国の為に我々は何を成すべきか、自問自答の時でもあった。

参拝者は遊就館を拝観、特攻隊員の遺書遺品に込められた愛

国と家族への思いに心を打たれた。現在の平和は尊い命の犠牲の上に成り立っているのだと改めて感じた次第である。

扱、遊就館の傍には鳩・馬・犬の銅像があった。バスの陰に隠れ、ひっそりと目立たない様子であったが、その三体は伝書鳩・軍馬・軍犬の慰霊像だという。靖国神社には国家の為に命を捧げた幕末の志士を始め二四六万六千余柱の英霊が祀られているのは周知の通りであるが、兵士と共に戦場に斃れた動物達の慰霊像があることは一般に知られていないのだろうか。

為政者は何かと靖国神社を政治問題に引き出したがるが、この神社に集まる戦場への慰霊の心を無視

し、権力闘争に利用し、批判を連ねるのは誠に残念でならない。桜の時期には尚早であったが、何処かの大学の卒業式でもあったか、境内には袴を着けた女学生の姿が目立った。諸外国の目ばかり気にして参拝にも来ない大人が国を動かしている今日、こうした次世代を担う若者が参拝に臨む姿は大変喜ばしいものである。学友と談笑する若人に英霊もさぞお喜びだったろう。

一都七県事務職員研修会

去る、三月二十九日・三十日、千葉県鴨川のホテル三日月に於いて、一都七県神社庁事務職員研修会が千葉県神社庁主催で開催されました。本県からは事務局三名の他、本年は研修会に併せ退任参事慰労会も催され、佐々木武田神社権宮司の四名にて参加致しました。

本庁からは講師として、原田恒男財政部長がお越しになり、神社本庁の共済保険について、(保険加入の手続き・補償内容・具体的な給付事例など)様々な観点から講義を頂きました。

また、各都県神社庁からは、過年度の事業報告と新年度の事業予定について説明があり、事務処理等の進め方で活発な意見が交わされました。



神殿例祭・新年初会

去る一月二十六日、藤本殿副
 庁長齋主により平成二十四年神
 殿例祭が神社庁神殿に於いて、
 県内神職総代およそ一〇〇名の
 参列の中、厳肅の内に滞りなく
 齋行されました。

続いて行われた新年初会は、
 高原東山梨支部長の司会により
 進められました。庁長、総代会
 長の挨拶に続き、田邊青年会長
 より「青年会震災復興支援活動」
 と題した講演がありました。福
 島県いわき市久之浜の痛ましい
 有様、現地での復興支援活動
 （瓦礫撤去、分別、遺品の収集
 など）、さらに今後も支援活動
 を続けて
 いくこと
 の報告が
 ありまし
 た。質疑
 応答の後
 初会を閉
 じ、引き
 続き直会
 のち散会
 となりました。



神殿祈年祭齋行

峡中支部長
 齋 藤 實

去る二月十五日、神社庁神殿
 において神職・総代多数の御出
 席の下、塚川齋主以下、峡中支
 部六名の奉仕により年穀の豊穰
 と平安を祈り捧げた。二月十七
 日には宮中・伊勢神宮でも齋行
 され、今年も東日本大震災の復
 興元年の祈年祭でもあつた。又
 天皇陛下におかれましては二月
 十八日手術をお受けになられる
 旨、一日も早い御快癒を祈り
 「天皇陛下御病氣平癒祈願祭」
 も同祭典の中で併せ齋行された。



祈年祭終了後の講演会を振り返って

教化委員会事業部長 渡 邊 平一郎



督でもあり「南京の真実第一部」
 も監督され、日本人本来の「心」
 を取り戻し、大マスコミが報道
 しない真実を報道すべく日本最
 初の衛星放送局である「日本文
 化チャンネル桜」を設立し代表
 となられた。現在では、インタ
 ーネットでも配信され、You
 Tubeでも観ることができ
 る。女性宮家創設や人権擁護法
 案、中国・尖閣問題など様々な
 問題の真実を、日本文化と伝統
 を守る我々と同じ立場に立って
 報道している数少ないマスコミ
 の代表であります。

去る二月十五日神殿祈年祭の
 後の教化委員会主催の講演会が
 本年は神道政治連盟共催で行わ
 れた。講師に「日本文化チャン
 ネル桜」の代表である水島総
 （さとる）氏にお願いし「戦後
 日本を越え建国の原点へ」との
 演題で講演された。氏は映画監

今度の講演では、現在の日本、
 特に民主党政権に変わってから
 様々な問題点、例えば尖閣での
 漁船衝突事件における対応や、
 竹島問題などの国の領土を守る
 こと、東日本大震災後の復興の
 遅さ、東京電力福島原発事故の
 対応の失敗、沖縄普天間基地移



設の迷走など様々な問題を提起され又教育に於ては自虐史感にとらわれた自分の国に誇りが持てないようにする教育現状を憂い、このままでは日本国が解体してしまうとのことでした。しかし氏は、「我が国には、百二十五代続いている御皇室があり、天皇陛下がおられます。世界でも唯一無二の存在であられる天皇を中心とした、国民すべてが家族の様な国を作れる」とも言いました。お互いが助け合い努力して誇れる国にしたいものです。

伊勢神宮式年遷宮

パネル展開催される

教化委員長

古屋 真弘

教化委員会(古屋真弘委員長)では、一月二十六日から二月一日の一週間、甲府市の岡島百貨店催事場に於いて恒例のパネル展を開催した。

例年同様「三重県物産展」に併設されての開催となり約千人が来場された。やはり遷宮間近と言う事もあり熱心にパネルを見ている方が多く、毎年楽しみにしているとの声も聞かれ、継続開催の意義を感じている。飾り付けてる神棚についても質問も多く、教化事業としても重要な位置付けになっている。



第十三期神社振興対策

教化モデル神社に指定される

石和八幡宮 宮司 土橋 英

この度第十三期の指定を受けることとなり、三年という期間の中で実施計画を実行に移して行くこととなった。神社として以前より長期事業計画として掲げているつじ花壇造成を中心とした境内整備と、四季折々の風情を活かした祭事を執行すること、又県内でも有数の一大温泉郷という土地柄を十分考慮しながら、氏子を始め近隣地域住民や内外から訪れる人々にとって、より親しみ易い存在としての神社環境作りを進める。そうした上で日本の伝統文化の中で、地域社会における神社の果たすべき役割の再確認を行い、地域社会との絆をより深めて行くという点を主目標として、事業を進めていきたいと思う。

但し、その際に重要となるのが、現在の混迷する世情や世界的にも特異な日本人の宗教観である神道と、その信仰の場である神社の明確なる位置付け、及び神社神道が自然環境や平和に

今回事業を実施するにあたり、自身の経験不足や勉強不足もあり、決して平易な道のみではなく、不安や自省の念もある。しかし、この機会を今後の神明奉仕の方針を見出す好機と捉え、皆様のご指導やご教示を仰ぎながら、神職総代共に手を携え、着実に歩みを進めて行きたい。



山梨県神道青年会 創立六十周年記念大会報告

山梨県神道青年会会長 田 邊 将 之

東日本大震災の影響により無期延期中であった標記の大会を、過日平成二十四年二月二十一日、甲府富士屋ホテルにて開催致しました。当日は過去の周年大会の参加者数をはるかに上回り、県内外ご来賓合わせ百八十名超のご出席を頂きました。同大会は、記念式典・記念講演・祝賀会の三部構成にて行なわれ、記念式典では開会儀礼や



記念事業経過報告等、記念講演に於いては永世棋聖米長邦雄先生より「素晴らしい日本」と題しご講演を頂き日程が消化され、祝賀会に於いては大勢の来賓の皆様よりお祝いのお言葉を掛けて頂き、お蔭様を以ちまして盛会裡に執り納めることが出来ました。

震災の影響により、結果約一年の延期ということで大会終了

後の感慨も一入でありました。お忙しい中ご出席頂きました来賓の皆様には厚く御礼申し上げますと共に、会員の労をねぎらいたいと思います。

残す記念事業は「山梨県神社誌」改訂増補版発刊、第六十二回神宮式年遷宮啓発活動「山梨から行くお伊勢参り」葉の発刊でございます。会員一同力を合わせ立派なものを作り上げたいと思っておりますので今後共ご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。上げご報告とさせていただきます。



表紙写真説明

上棟祭

正殿の棟木を上げる祭儀。先ず正殿が古規通りの位置にあるかを測量する丈量儀があり、続いて大宮司以下が棟木から伸ばされた綱を引いて棟上げの所作をし、「千歳棟、万歳棟、曳々億棟」のかけ声と共に屋上の小工が御棟木を木槌で打ち固めます。



〔補足説明〕

立柱祭

正殿の建築の初めに際し御柱を立て奉る祭で、素襦烏帽子姿の小工が四組に分かれてそれぞれの御柱の木口を木槌で打ち固め新殿の安泰を祈ります。

浦安の舞指導者研修会

に参加して

武田神社 巫女

飯室 あずさ

平成二十四年三月七日、山梨県神社庁で春祭りに向けて、浦安の舞の正しい作法等を確認、理解することを目的とした浦安の舞指導者研修会が行われました。

午前九時より開講式が始まり、神殿拝礼、国歌斉唱、敬神生活の綱領唱和、羽中田進研修



所長告示の後講師である飯田淳美先生の紹介、挨拶その後、一日の日程の説明を受けました。日程は午前中に扇舞、午後は鈴舞と別々に行なわれました。研修では、舞始めから終わるまでを一つ一つ教えて戴く事が出来ました。又鈴舞の後、総合として扇舞と鈴舞を通して研修を行ない、その後閉講式となりました。

講習の中で鈴舞に使用している鈴が剣先の鈴から八重御鈴に変更された理由など教えて戴きました。今回のように多くの方と合同で練習を行なうのは、始めての事で緊張しましたが皆さんと一緒に練習をさせて戴き、見させて戴く事で自身の舞を再度確認する事ができ良かったと思います。

支部だより

峡南支部

飛騨一宮水無神社を

参拝して

峡南支部副支部長

近藤 政房

冬景色の北アルプス安房峠を越えて高山へ入る。飛騨一宮水無神社の広い境内は、まだ一面に雪が残っていた。

懇切な昇殿参拝を受け、写真を撮っていると、御神門の蔭に、数本の雪かきのスコップが揃えて立てかけてあるのが目に入った。雪国の人々の、神様への日

頃のご奉仕を垣間見たような気がして、清々しい気持ちになり神社を後にした。



祭典日程

5・2 船津天上山護国神社祭、大泉町泉神社祭

5・3 甲府市稲積神社正木祭(五日) 伏見稲荷祭、南アルプス市高尾山穂見神社養蚕祭

5・5 富士吉田北口本宮富士浅間神社初申祭、西嶋太神社沢奥の祭、長坂町大八田建岡神社祭、甲府宮原町字波刀神社祭

5・9 大泉町逸見神社例祭

6・7 浅間神社梅折枝神事

6・10 稲積神社御田植祭

6・30 大祓、夏越祭、南アルプス市吉田諏訪神社祓祭

7・1 富士山山開き

7・7 山梨市下栗原大宮五所大神水防祭

7・14 甲府市住吉神社夏祭田植行事

7・15 須玉町比志神社祇園祭

7・19 七保町葛野御岳神社例祭

7・22 身延町西嶋岩崎神社祭

7・25 七保町下和田春日神社例祭

7・28 河口浅間神社太神楽祭

7・30 韮崎市若宮八幡宮祭

7・31 河口浅間神社身曾伎流し、甲府市千塚八幡神社みそぎ祭、甲府市美咲町、御崎神社みそぎ祭、長坂町建岡神社夏越祭、甲斐市松尾神社みそぎ祭

祭典を斎行して

(神社・祭典紹介)



「不易流行」の言葉が頭を過る。氏神様とは、氏子とは何ぞや。

卯月、文月ともなれば自ずから住吉様の御幸祭、田植祭と近隣住民、心も身体も反応して来たものである。残念ながら近き頃は其の反応も薄れつつある。

社会全般に渡って古来からの良き風習、日本の風儀も壊れつつある。氏神様の祭りを通して伝統的精神、それに伴った行動の恢復を願いたい。

住吉神社 宮司
志村 幹人



四月一日北杜市長坂町塚川鎮座諏訪神社の春例祭が斎行されました。午前中より敬神会々員により大々神楽が奉納され、多くの参拝者が訪れて御神楽に見入っていました。午後一時より氏子総代を始め地区役員、氏子など多数参加して神事が執り行われ、五穀豊穰、無病息災、家内安全、天下泰平、商売繁盛などが祈願されました。多くの方々に御神徳がありますようにご祈念申し上げます。

諏訪神社 宮司
塚川 宣行



去る二月十一日佐々木幸永宮司様が本務奉仕する大月市の福地八幡神社で、兼務する神社の役員十八名が参加して、恒例の紀元祭が斎行されたので参列した。式典で天皇陛下平癒の祈願、東日本大震災復興祈願、檀原神宮遙拝等、式典が厳粛に執り行われた。社務所に場所を移して直会、各役員より活動報告・併せて情報交換を行い懇親を深めた。尚、紀元祭(建国祭)と十二月二十三日の天皇誕生祭とを同役員にて二回開催しています。

福地八幡神社 役員
奈良 俊一

山梨県神社総代会大会

県神社総代会(宮川陸武会長)では恒例となりました大会を左記の日程、要項で開催致します。本大会は、県内総代が一堂に会して、総代としての重要な任務を自覚し、神社間、総代間の横の連絡を図り、情報を共有することにより神社界の更なる発展を図ろうとするものです。お忙しいこととは存じますが、会場に足を運ばれます、懇親を深める一日として頂きますようお願いし、ご案内申し上げます。

記

一、日時
平成二十四年六月二十五日(月)
午後一時三十分

二、場所

コラーニー文化ホール
(山梨県民文化ホール) 大ホール

三、内容

第一部 式典
第二部 清興 浪曲

東家浦太郎

お詫びと訂正

前号の「祭典日程」で左記四月三日の祭典が抜けていたことをお詫びし、ここに訂正いたします。

4・3 神武天皇崩御の日、甲府住吉神社幸祭、石和窪中島神明神社祭、石和町八幡神社祭、長坂町塚川諏訪神社祭、石和町河内佐久神社春季祭、黒駒檜峰神社祭、八代町永井天神社祭

4・3 神武天皇崩御の日、甲府住吉神社幸祭、石和窪中島神明神社祭、石和町八幡神社祭、長坂町塚川諏訪神社祭、石和町河内佐久神社春季祭、黒駒檜峰神社祭、八代町永井天神社祭